



連合徳島

vol. 260

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35の1
徳島県労働福祉会館内
tel. 088 (655) 4105
fax. 088 (655) 4113
E-mail info@tokushima.jtuc-rengo.jp
http://tokushima.jtuc-rengo.jp/

発行: 日本労働組合総連合会徳島県連合会
編集責任者 島 和久

当面の日程

- ◎ 8月3日(月)・8月7日(金)
 - ・「労働者保護ルール改悪阻止ウィーク」駅前街宣(JR徳島駅前)
- ◎ 8月21日(金)
 - ・第26期部落解放・人権講座開講式(県職会館)
- ◎ 8月29日(土)
 - ・「安全・衛生管理者養成講座」開講式(とくしま県民活動プラザ)

アオギリの成長と恒久の平和を祈り

戦後70年
連合徳島
平和行動

被爆アオギリ2世の記念植樹式典

平和、民主主義、基本的人権の尊重など、過去の反省から生み出された価値を確実に次代に引き継いでいくことは、現代を生きる我々の責務と考える。連合徳島は、戦後70年という節目の年を迎えるにあたって、世界の恒久平和の実現にむけて、より一層平和運動を進めていくことを確認した。

7月4日10時より、約30人参加のもと、徳島市の公園敷地内(幸町公園)に「被爆アオギリ2世の苗木植樹」を行った。アオギリは爆心地から1.3kmにある旧広島通信局の庭で幹の半分以上が焼け焦げた後も翌年新芽を出して市民に生きる希望を与えた。広島市は全国にその種から育てた苗木を配布している。

まず主催者を代表して森本会長が「若い人に戦争や核兵器の悲惨さを伝えていきたい、アオギリは成長が早く、この木を見るたびに平和の大切さを感じてもらいたい」とあいさつ。続いて多田徳島市第一副市长から「戦後70年、徳島大空襲のこの7月4日に植樹し、平和のありがたさについて市民とともに考えていきたい」と徳島市を代表してあいさつをいただいた。当日は松井一實広島市長からもメッセージが届き読み上げられ、後日そのメッセージボードも立てられた。参加者らは植樹されたアオギリに水をやり、アオギリの成長と恒久の平和を祈った。



被爆アオギリ2世を植樹する森本佳広会長と多田昭弘第一副市长

また、15時からふれあい健康館にて映画「アオギリにたくして」の上映会が行われ、約60人が参加した。この映画は、被爆者が亡くなっていく今、被爆体験のない世代が伝えなければならぬ時代になったという強い意志のもと、広島平和記念公園にある被爆アオギリの木の下で、たくさんの人々に被爆体験を語り継いできた沼田鈴子さんの実話に基づく映画である。参加者は一様に涙した。



被爆アオギリ2世の苗木を植える参加者



被爆アオギリ2世の苗木



70年前の徳島大空襲・戦争体験を語る元参議院議員乾晴美さん

語られ、当時10歳だった乾さんは石井町に在住で、7月4日、徳島の空が真っ赤になっていく光景を今も鮮明に覚えている。その後市内からぞくぞくと被災者が逃げてきて、両親は食べ物や着る物をたくさんあげ、子どもながら一緒にいざつを作ったなどの思い出も語られた。「戦争は人間が人間でなくなる。」「戦争で一番の犠牲者は民である。」「この言葉で締めくくられた。

連合2015
平和4行動

「願う」平和から「叶える」平和へ

連合は平和行動として、核兵器廃絶による世界の恒久平和実現、被爆者支援の強化、在日米軍基地の整理・縮小、北方領土の早期返還など、6月～9月を平和行動月間と位置づけ、①6月沖繩、②③8月広島・長崎、④9月根室での平和行動を基本に進めている。戦後70年という節目の本年にあたり、連合徳島は、「連合2015平和4行動」に参加し、さまざまな取り組みを展開している。

連合徳島は広島平和行動に代表団34人(内子ども5人)が、各構成組織等から集約した折り鶴を献げ、8月5日平和記念資料館の見学、広島平和記念公園でのピース・ウォーク、連合主催の「2015平和ヒロシマ集会」、6日に広島市主催の「広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式」に参加する。

また、長崎の平和行動に連合徳島事務局と推薦議員4人が、8月8日、連合主催の「2015平和ナガサキ集会」、9日に長崎市主催の「長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」、原爆落下中心地公園・長崎市平和公園でのピース・ウォーク、

徳島地区協議会と 東部地区協議会 統合

— 連合徳島中央地域協議会 —

2015年7月21日、ヒューマンわーくびあ徳島において、徳島地区協議会臨時総会を開催した。



連合徳島中央地域協議会本議長が来賓あいさつ

今回の臨時総会は、東部地区協議会を構成する組織や組合員数の減少を受け、今後において地域活動が衰退しないよう組織の拡大・強化を図るべく、徳島地区協議会と東部地区協議会を統合するため開催した。臨時総会では「徳島・東部地区協の組織統合(案)」について、「運営規定の改定(案)」について、「総会代議



徳島地区協議会本議長が主催者あいさつ

員及び委員会委員の選出基準見直し(案)について「役員(案)」について「執行部より提案し、いずれも満場の拍手で承認された。今後においても、連合徳島、中央地域協議会の活動方針を基本に、中央地域協議会徳島地区、東部地区においてなお一層地域に根差したよりきめ細やかな運動を展開する。



親子サマーキャンプには連合徳島組合員とその家族など91人が参加

「連合の森」親子サマーキャンプ

親子で環境問題と平和問題を考える

「連合の森」に40本の苗木(コナラ)を植樹

地球にやさしいエコ・ユニオンをめざす連合徳島は、7月25日～26日の2日間、美馬市木屋平の中尾山・平成荘で、「連合の森」親子サマーキャンプを開き、連合徳島組合員とその家族ら91人(大人56人・子ども35人)が参加した。

その後、昼のイベントとして、木材を利用し鉛筆立てを作成する「木工教室」と今年戦後70年の「連合平和検定」を行った。「木工教室」は子どもを中心に参加し、最初に徳島森林管理署の職員から森林について説明を受けた後、杉の間伐材にどんぐりや木の枝などをボンドで付けたりと親子で熱中し、それぞれオリジナルの鉛筆立てを完成させた。

ユーは9班に分かれて炭を熾し、昼間に心地よい汗をかいたこともあり、子どもたちの食欲も旺盛で肉・野菜・ソーセージ・おにぎり等を食べて、大人たちも子どもに負けず交流を深めた。2日目は、朝食後に2006年に美馬市の協力もとできた「連合の森」へ車で移動。徳島森林管理署職員の指導のもと、家族・グループ毎に40本の苗木(コナラ)を植樹するとともに、鹿対策の防護ネットも取り付け、大きく成長することを願って名札を埋め込んだ。



木工教室ではオリジナルの鉛筆立てを作成

「連合平和検定」では平和に関する問題を1問5点20問に挑戦。みんな家族単位で考え、最高得点をマークしたのは95点の林ファミリー(三洋電機労組)であった。

2日間とも好天に恵まれ、徳島森林管理署をはじめ林野労組・県職労組など、多くの参加者と地元美馬市の協力をいただき、標高1050メートルというすばら



親子協力して植樹



夕食・交流会はバーベキューを実施



「連合平和検定」最高得点95点をマークした林ファミリー(三洋電機労組)

災害緊急時に備える 訓練対処法を学習

ボランティアサポート チーム養成講座

5月30日、ボランティアサポートチーム養成講座の開講式および第1講座が徳

島市東消防署で行われ22人が参加した。はじめに河村会長(当時)から「今年で15期となるボランティアサポートチーム養成講座は登録者が1000人を超えている。東日本大震災をはじめ徳島県においては昨年の阿南・那賀の大水害も発生した。災害緊急時に備えるため、連合徳島は徳島県社会福祉協議会と『被災者支援活動等の相互協力に関する覚書』を締結した。日頃からの避難や訓練を行っているかどうか、人命を左右すると言われる。養成講座において十分習得をしていただきたい。」とあいさつした。

東消防署の救急救助隊のみなさんから心肺蘇生法・AEDについて講習を受けた。班に分かれて実践講習も行い、「現実こんな場面で冷静に行動できるだろうか」「心臓マッサージで肋骨おれたら」など様々な不安の声も聞かれたが熱心に受講していた。

6月13日に第2講座を徳島市東消防署で21人参加のもと行われた。第1講座に引き続き、実践体験として三角巾を使って、手や頭や足からなどの出血を想定しそれぞれの止血法を学んだ。二人組で頭や身体を白布でぐるぐる巻き、毛布を使った担架搬送の仕方など実践を交え、ハチに刺されたときの対処法も学んだ。



心肺蘇生法やAEDの使用法、担架搬送訓練を体験

第26期(2015年度)部落解放・人権講座開講

<参加者募集中> 部落差別や人権問題について学習してみませんか。

月日	時間	内容	講師
8月21日(金)	10:00	開講式	事務局
	10:30~12:00	徳島における部落解放運動の歴史と現状	橋本弘房 部落解放同盟県連 執行委員長
9月4日(金)	13:00~15:30	CAPおとなのワークショップ	阿部和代 CAPとくしま代表
	10:00~12:00	女性差別撤廃条約批准30年	山崎鈴子 部落解放同盟中央本部 女性部長
9月11日(金)	13:00~15:00	パートナーシップと女性の人権	河野和代 ウィメンズカウンセリング徳島 代表
	10:00~12:00	部落差別の実態と糾弾闘争の理論	齒山山加代 部落解放同盟県連 書記長
9月18日(金)	13:00~15:00	差別をなくす社会システムを創造するために	北口末広 近畿大学人権問題研究所 教授
	10:00~12:00	フィールドワーク	辻本一英 芝原生活文化研究所 代表
	13:00~15:00	総括討議・閉講式	森本佳広実行委員長 (地方共闘会議議長)

*第1講～第4講の会場は「徳島県職員会館2階」、第5～6講は「労働福祉会館502号室」、第7講は「徳島市国府町芝原：むつみ会館」

□主催：部落解放・人権講座実行委員会 □参加費：20,000円
□問い合わせ：連合徳島内(板東)連絡先：088-655-4105 □参加締め切り日：8月17日(月)